

県立図書館における新型コロナウイルス感染拡大防止のための取組（図書館）

1 はじめに

令和2年1月15日、ついに日本国内でも新型コロナウイルスの感染者が確認されました。その後、またたく間に感染は広がりを見せ、日本中が未知のウイルス襲来に不安な日々を過ごすこととなりました。

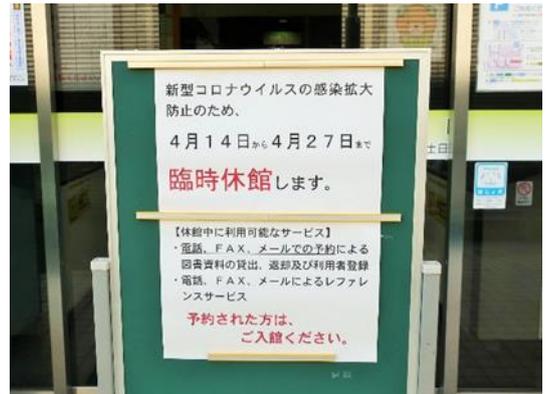
ここでは、県立図書館における感染拡大防止対策及び外出自粛中に実施した読書支援サービスについてご紹介します。

2 これまでの経緯

県立図書館では、皆さまに少しでも安心してご利用いただけるよう、1月末から手指消毒液を設置し、咳エチケットや手洗いを励行していましたが、3月2日に愛媛県内でも感染者が確認されると、一気に緊張感が高まりました。県民の皆さまにも外出自粛をお願いしている状況において、県立図書館でも、主催イベントをすべて中止することとなりました。

しかし、私たちは県立図書館の図書資料が、少しでも皆さまの在宅時間を有意義に過ごすための手助けになればと、これまでの対策に加えて、マスク着用のお願ひ、定期的な全館一斉換気の実施、閲覧席及び学習室の座席数の削減といった感染防止策を徹底して開館を続けることとしました。

その後、緊急事態宣言下の臨時休館（4/14～5/10）を経て、各カウンター及び閲覧席に飛沫感染防止シートを設置するなど、さらなる感染防止策を実施し、5月12日から図書館を再開しました。



3 学校への支援

3月、県内の学校において臨時休校が順次始まりました。愛媛県教育委員会は、児童・生徒への支援策の一つとして読書活動の機会を提供することになりました。これは、学校等を通じ公共図書館の図書を貸し出しするもので、活動に制限が生じた子どもたちの心の安定を図ることがねらいでした。

県立図書館には、図書館未設置町である上島町、鬼北町、松野町、愛南町から要望があり、計1,885冊の図書を各教育委員会に送りました。

上島町からの申込みは小学校1校4名と少人数だったため、図書館職員が図書を選び、計20冊を貸し出しました。鬼北町には、町内の全小中学校（小学校7校326名、中学校2校138名）に計1,070冊を貸し出しました。松野町と愛南町は各教育委員会から希望があり、松野町に490冊、愛南町に305冊の図書を貸し出しました。突発的に必要となったこれらの大量な資料には、協力図書（登録団体に一括してまとまった冊数の図書を貸し出すサービス）用の資料が力を発揮しました。

後に、支援の様子を掲載した町の広報誌や返却図書に添えられたメッセージから、子ども

もたちに本が届いた様子を垣間見ることができました。

支援に当たっては、刻一刻と状況が変化中、各教育委員会や小中学校の先生方には多大なご尽力をいただきました。誌面をもって、改めて感謝申し上げます。

4 臨時休館中のサービス

県立図書館は、4月14日から5月10日までの4週間にわたり臨時休館しました（11日は月曜休館）。当初は4月26日までの予定でしたが、感染状況を考慮し、5月6日まで延長、更に5月10日まで再延長されました。休館中は、1階子ども読書室、2階学習室、3階一般図書室、4階えひめ資料室すべてを閉鎖し、利用者の皆さまには、大変ご不便をおかけしましたが、一部のサービス提供は継続しておりましたので、その概要をご紹介します。

【休館中に提供したサービス】

- (1) 電話・FAX・メールでの予約による資料貸出
- (2) 資料返却（原則、返却ポスト利用）
- (3) 利用者登録（要予約）
- (4) 電話・FAX・メールによるレファレンスサービス
- (5) 電話・FAX・メールでの申込みによる資料複写
- (6) 図書館等への資料貸出

※（5）は、5月8日～10日のみの提供

上記（1）～（5）のサービスは、1階ロビーに設けた臨時カウンターで提供しました。臨時カウンターには2名の職員を配置して対応にあたり、電話やFAX、メールで寄せられる予約や問合せ等には、子ども読書室、一般図書室、えひめ資料室の各窓口で対応しました。複写サービスは、利用者の要望を受けて、終盤のわずかな期間でしたが提供しました。



臨時カウンターは、ビニールシートで仕切りました。来館した利用者には、手指消毒をお願いして、滞在時間がなるべく短くすむような対応を心がけるとともに、感染の事態を想定し、その都度、対応した職員名を記録するようにしました。

また、返却日が臨時休館中にあたる場合は、再開後1週間の猶予期間を設けました。

これに先立ち、県内公共図書館の休館状況を聞き取り調査し、4月9日から当館ホームページで公開、随時更新を続けました（5月27日最終更新）。

5 おわりに

現在も、新型コロナウイルス感染症への不安を抱え、特効薬やワクチンの開発を待ち望みつつ暮らす日々が続いています。今後とも、安心・安全な図書館づくりに努め、知の拠点として、社会生活の変化に応じた図書館サービスの提供ができるよう、努力を続けてまいります。